

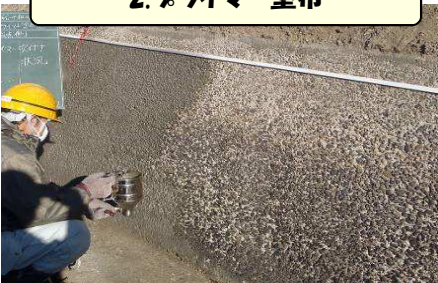


■ ストマネ新定番！ 「ASモルタル工法」

ASモルタル工法手順 1. 下地処理(高圧洗浄)



2. フライマー塗布



3. モルタル被覆



4. 目地・ひび割れ補修



施工場所：岡山市南区彦崎
事業主体：瀬崎地域資源保全組合
(農地・水・環境保全向上対策事業)
延長：90m(施工面積180㎡)



こんな、困りごとはありませんか？

- ① 水路を更新したいが、民家が隣接している。
- ② 水路を更新したいが、重機の進入ができない。
- ③ 工期を短縮したい。
- ④ 水田に水が溜まらない。
- ⑤ 水路が摩耗して、水が流れない。(水位の上昇)

上記の様な問題は、「ASモルタル工法」で解決できます！

今後、膨大なコンクリート構造物が更新時期を迎えます。しかし、老朽化したすべての構造物を新しく更新することは、不可能です。そんななか、構造物の有効活用や**長寿命化**を図る体系的な手法「**ストックマネジメント**」＝「**ストマネ**」が注目されています。

「ASモルタル工法」は、ストマネで表面被覆工法に分類されるものです。使用材料は、耐摩耗性、付着性、追従性に優れた、**繊維混入ポリマーセメントモルタル**になります。プレミックスタイプなので、現場で水を混ぜるだけ！施工性にも優れています。

当社、コンクリート診断士が個別に現場状態を確認し、最適な補修工法を提案いたします。

詳しくは、[コチラ](#) →

インフラ保全技術協会

検索

(Writing by 市場開発課 佐藤)

商品

ボックス

分割ボックス・可とうボックス・アーチカルバート・ボックスカルバート・耐震性貯水槽(40・60・80・100m³)・防火水槽(40m³)・etc.

擁壁

E・スタックウォール (NETIS) ・キャッスルウォール (NETIS) ・GLウォール (NETIS) ・ザウォール・グランディア・多数アンカー式補強土壁工法 (NETIS) ・etc.

環境保全型

親緑・親緑ステア・ポラポット (NETIS) ・T型フィット・ピオアイドⅡ・プロテクトⅠ・Ⅱ・Ⅲ型・

道路

DR²側溝・SK側溝・FV側溝・エルドレイン (NETIS) ・トンネル監査廊用側溝 (NETIS) ・ピュアドレイン・ピュアドレイン ミニ (NETIS) ・アプロンⅡ (NETIS) ・シンプルスラブ・組立マンホール・etc.

水路

大型フリューム・小型フリューム・水路用L型・組立水路・etc.

特殊工法

トップベース工法 (NETIS) ・リフトローラー工法・DSB横引き工法・TSKJ工法・SSW工法 (NETIS) ・

『AKB』は浄化槽をはじめ、各種排水処理槽を構成するボックスカルバートとして、(株)アサヒエンジニアリング社と共に開発した製品です。

浄化槽の場合、主にFRP製とプレキャストコンクリート製品(PCa製品)と現場打ちコンクリートがあります。
日平均汚水量:40m³/日・処理対象人員:200人槽位までは、FRP製が安価になりますが、それ以上になるとPCa製品が安価になります。

さらに、建物の増築時に、FRP製では浄化槽の増設が不可能ですが、PCa製品の場合、不足分の槽を増設して、対応が可能になります。

施工性について

- ボックスカルバートを樹上に積み上げます。
- 接続目地部が凹凸形状になっており、高い止水性と強度を有した接着材を使用しています。
- 現場打ちコンクリートと比べ、**短納期で仕上がります。**

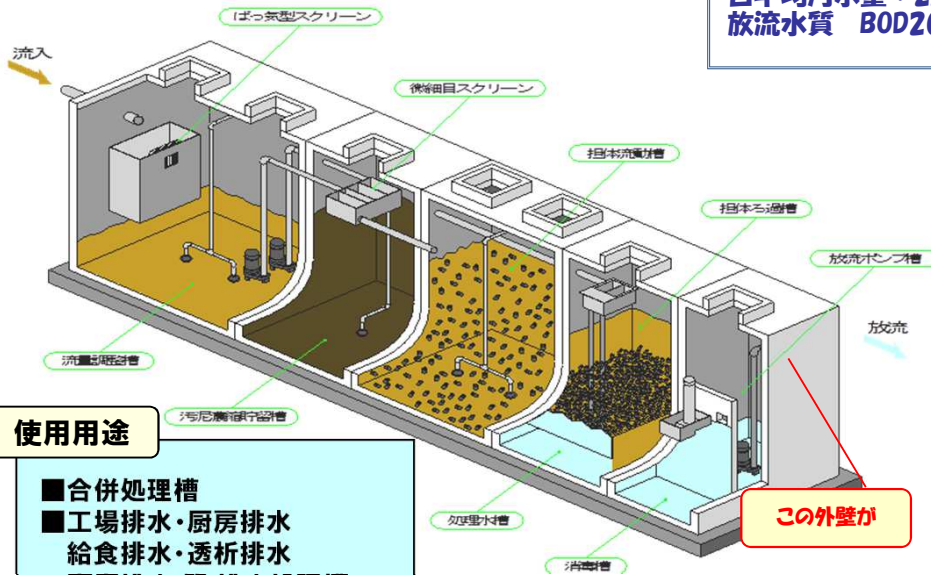
物件概要

施工場所:山口県萩市
事業主体:民間(大型商業施設)
処理対象人員:1100人槽
L型水路 H1200 幅6500



ANI-Y型

国土交通大臣認定取得システム 認定番号:DW3N-136
流量調整型担体流動ろ過循環方式
処理対象人員:51~10000人槽
日平均汚水量:2.55~2000m³/日
放流水質 BOD20mg/ℓ以下



使用用途

- 合併処理槽
- 工場排水・厨房排水
給食排水・透析排水
畜産排水等 排水処理槽

国土交通大臣の**認定**も所得しており、**安心・安全**に使って頂ける浄化システムとなっています。

施設利用者様、施工管理者様、設計者様、発注者様、関係するすべての方の**安心と満足**をカタチにしていきたいと思っております。

カタログ等資料、設計に関するご質問等ございましたら是非ご用命下さい。

Writing by Tsuyama B.O.

～郷土紹介～

岡山営業所の小野 恭生です。私が住む倉敷市は瀬戸内海に面しており、その内海に浮かぶ離島”直島の地中美術館(香川県)”について少し紹介させていただきます。

地中美術館は「自然と人間を考える場所」として、2004年に設立されました。直島の南側に位置し、館内にはクロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品が安藤忠雄設計の建物に設置されています。

直島の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設されたこの美術館は、地下でありながら自然光が降り注ぎ、一日を通して、また四季を通して作品や空間の表情が刻々と変わります。この他にも、直島銭湯「I♡湯」、家プロジェクト、ベネッセハウスミュージアム等のアート鑑賞の施設があります。

